

学びみらいPASS 秋の活用報告会

学校法人河合塾では、社会で求められる「新しい学力」を測定し、生徒の特長・特性を多面的に捉えた進路・進学指導を実現することをめざし、「学びみらいPASS（以下、MMP）」を提供しています。

MMPは4つのアセスメントで構成されています。

- ①教科学力を測るKei-SAT
- ②ジェネリックスキル^(注)を測るPROG-H
- ③学習生活パターンを測るLEADS
- ④適性・興味関心を測るR-CAP for teens

中でもPROG-Hは400校以上の高校に採用いただいております、約14万人に受験いただいております（2023年11月現在）。

MMPは、能力の測定にとどまらず、活用・成長のサイクルを生徒に意識させることで、主体的・能動的な学びを促すプログラムです。

採用いただいた学校では、キャリア教育や進路選択のツール、面談における客観的指標、探究学習等の取り組みの効果検証、調査書等の参考資料、スクール・ポリシー策定、カリキュラム・マネジメントの参考資料、学校パンフレットへの掲載など、非常に幅広い場面で活用いただいております。

昨年秋には全国3会場で活用報告会を実施し、その一部を紹介しました。今回の記事では、その中から、長崎県立長崎西高等学校の活用事例をレポートします。

学びみらいPASS秋の活用報告会 登壇校・講演内容

登壇校	講演内容
宮城県仙台第三高等学校	MMPを活用したカリキュラム・マネジメントの分析と改善
栃木県立矢板東高等学校	MMPの導入とその後の活用について
修道中学校・修道高等学校	みらいPASSジュニアの導入理由と実施後のアンケート結果
ノートルダム清心中・高等学校	進路指導・教科指導に「ジェネリックスキル」を生かすための捉え方と取り組み
佐賀県立佐賀西高等学校	導入までの経緯と実施後の気づき
長崎県立長崎西高等学校	導入目的および活用事例とその効果
宮崎第一中学高等学校	導入理由と面談での活用法
佐賀大学	大学の取り組みから考えるジェネリックスキル評価の活用

PROG-H採用校

424校

(2023年11月時点)

PROG-H受験者数

14万人

(2023年11月時点)

学びみらいPASS Webサイト

テスト内容の詳細
や実施方法、活用
のポイントなどをこ
確認いただけます。



(注) PROG-Hでは「ジェネリックスキル」として、「知識を活用して問題を解決する力（リテラシー）」と「人と自分にベストな関係をもたらそうとする力（コンピテンシー）」を測定している。

長崎西高校のMMPの活用方法

長崎県有数の進学校である長崎県立長崎西高校では、2023年度より全学年でMMPのPROG-Hを導入し、得られた結果をさまざまな指導に活用している。

1 面談での活用

1学期の二者面談および三者面談の際、若手教員がスムーズに面談を行う材料としてMMPを活用している。進路指導主事の福間圭三先生は「PROG-Hの結果のうちスコアが高い部分に注目し、生徒の良いところに触れてもらうよう先生方をお願いをしました。これは効果があったようで、『こんなところが得意そうだね』とほめる形で面談を始めてもらうことで、生徒も話に耳を傾けてくれるそうです。三者面談時も生徒の良い部分を伝えると保護者の表情が和らぐなど、雰囲気作りに役立っています」と話す。

2 成績検討会での活用

今年度より模試の成績とPROG-Hのリテラシー・コンピテンシー（対課題基礎力）のマトリクス<図>を資料として検討会を実施している。マトリクスを資料としたことで、検討会で繰り広げられる教員の会話にも変化が見られるという。

「マトリクスを用いた検討会に変えたところ、模試成

績だけでない部分にも目が行くようになり、さまざまな観点で生徒のことを見られるようになりました。一番良かったのは総合型選抜への誘導です。コンピテンシーが高い生徒には、集団討論などが課される総合型選抜にチャレンジしてもいいのではという前向きな案が出てくるようになりました。その結果、今年度は難関私立大に2名合格者を出すことができました。これはまさにデータを担当とじっくりと見たおかげではないかと思います」

3 日々の指導での声掛け

模試の成績と紐づけたマトリクスは日々の指導でも活用されている。福間先生は「これから受験本番に向かっていく中で、生徒にどのような声掛けをしていくのが良いかは生徒によって異なります。そうした面でもMMPは役立っており、たとえば、模試成績はまだまだですが、リテラシーが高くポテンシャルの高い生徒に対しては、発破をかけて激励するなど、教員も自信を持って背中を押すことができます。逆に、模試の成績は良好でもリテラシーが低い生徒は、直前期に失速して自信をなくし、不安が大きくなる可能性がありますから、注意して見ていくこともできるでしょう。受験が近づくにつれて不安が大きくなり、体調を崩すなど、注視すべき生徒を事前に把握してケアできるのは大変ありがたいです」と話す。

来年度以降は、総合型選抜、学校推薦型選抜で課される面接対策などさらに活用の幅を広げる考えだ。

図 成績検討会で活用しているマトリクス

模試成績								
		S	A	B	C	D	E	F
リテラシー総合	7	模試○ リテ○			模試△ リテ○			
	6	学力・思考力ともにバッチリ			思考力を学力に生かし切れていない			
	5	難関大合格が期待できる			これから伸びる可能性あり			
	4							
	3	模試○ リテ△			模試△ リテ△			
	2	学力はあるが思考力が心配 失速注意			学力・思考力ともにフォロー必要 自信を持たせて前向きに学習させたい			
	1							

模試成績								
		S	A	B	C	D	E	F
コンピテンシー（対課題基礎力）	5	模試○ 対課題○			模試△ 対課題○			
	4	学力・課題への行動力ともにバッチリ 安定した伸びが期待できる			課題への行動力はあるが学力が伴っていない 学習時間や方法をチェックしたい			
	3							
	2	模試○ 対課題△			模試△ 対課題△			
	1	学力はあるが行動面が心配 不安定さに注意			学力・行動力ともにフォロー必要 行動面の課題をフォローし自信を持たせたい			

※長崎西高校作成資料を基に河合塾作成